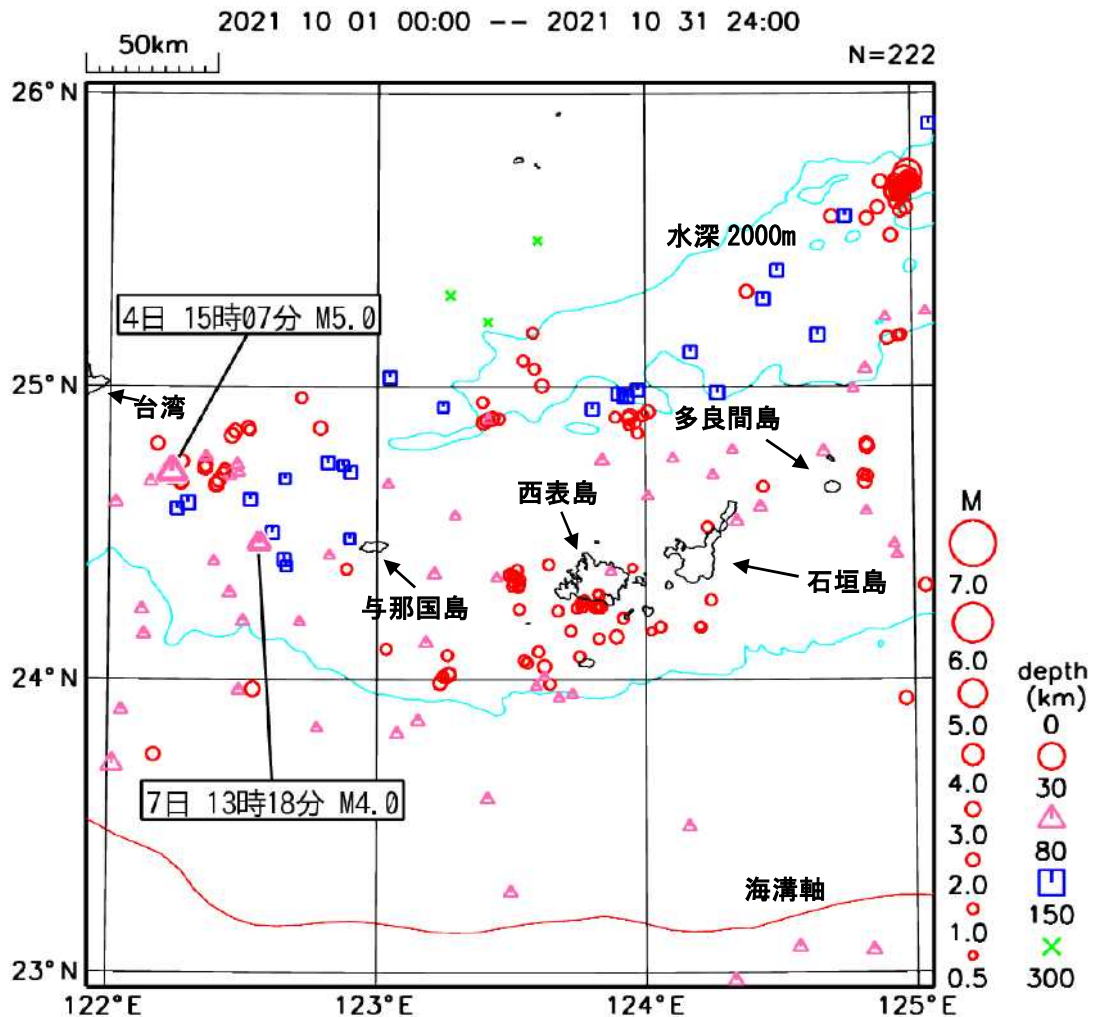


八重山地方の地震活動

令和3年(2021年)10月

石垣島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
N : 地震の回数(マグニチュード 0.5 以上の回数です)
八重山地方で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

【概況】

今期間、八重山地方で222回(9月は306回)の地震を観測しました。震度1以上を観測した地震は2回(9月は2回)でした。

4日15時07分に台湾付近(与那国島の西北西約85km)で発生した地震(M5.0)により与那国町で震度1を観測しました。

7日13時18分に与那国島近海(与那国島の西約45km)で発生した地震(M4.0、深さ79km)により与那国町で震度1を観測しました。

24日14時11分に台湾付近で発生した地震(M6.3、深さ73km)により多良間島から与那国島にかけて震度2~1を観測しました(別紙参照)。

八重山地方で震度1以上を観測した地震一覧（期間：10月1日～31日）

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2021年10月04日15時07分 沖縄県 震度 1：与那国町久部良	台湾付近	24° 42.3' N	122° 13.9' E	38km	M5.0
2021年10月07日13時18分 沖縄県 震度 1：与那国町役場*	与那国島近海	24° 27.7' N	122° 33.5' E	79km	M4.0
2021年10月24日14時11分 沖縄県 震度 2：石垣市新栄町*, 石垣市美崎町*, 与那国町祖納, 与那国町久部良, 与那国町役場* 竹富町黒島 震度 1：多良間村塩川, 石垣市登野城, 石垣市新川, 石垣市平久保, 石垣市伊原間* 竹富町大原, 竹富町波照間, 竹富町上原小学校, 竹富町上原青年会館*	台湾付近	24° 28.6' N	121° 43.6' E	73km	M6.3

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※八重山地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

※ 資料中のデータについて

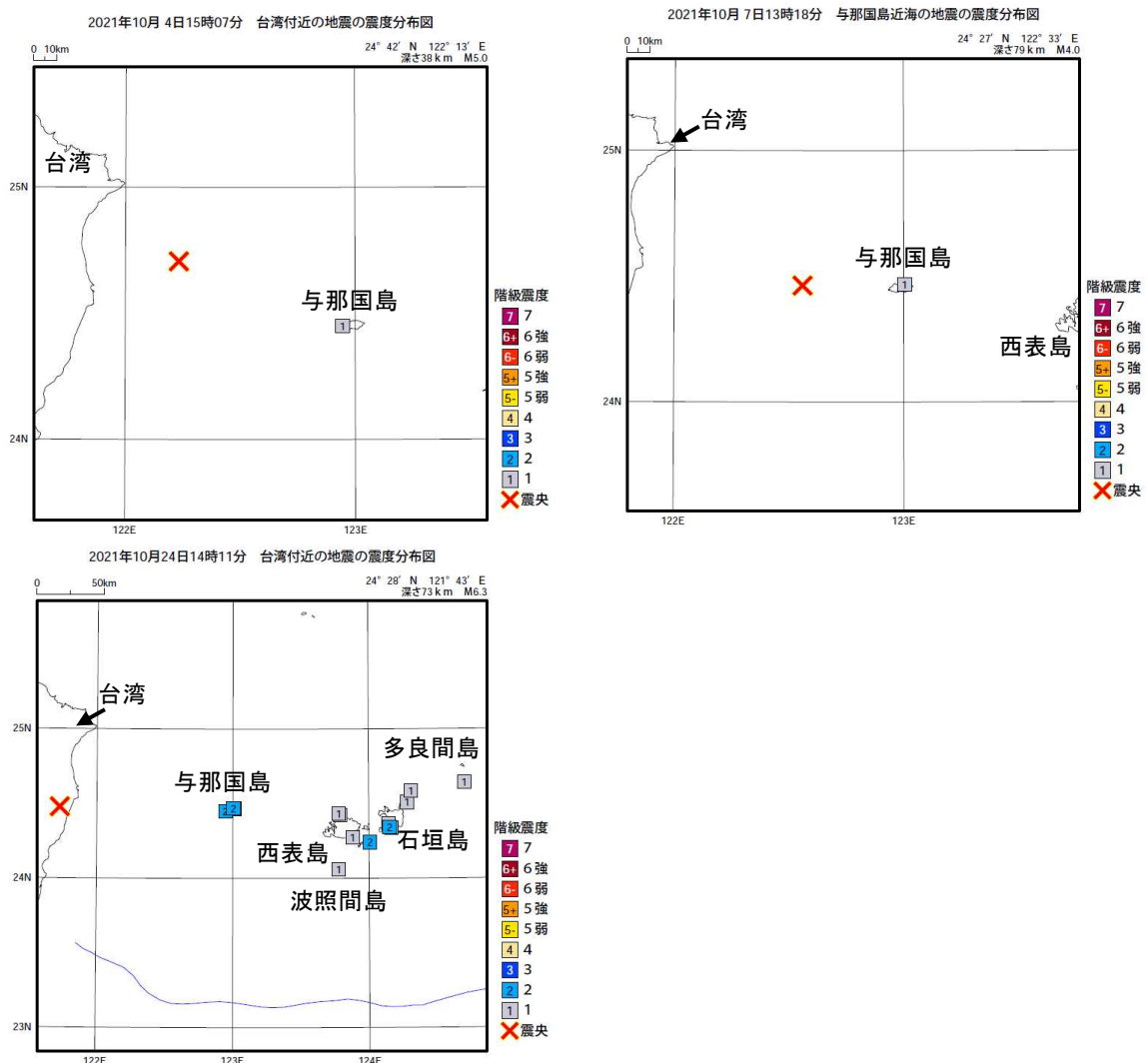
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 概況中の震源の深さについて

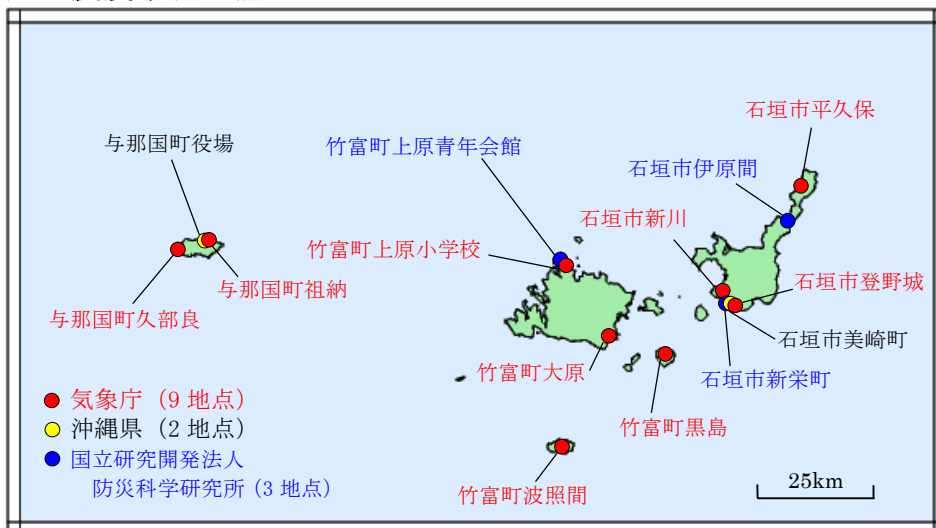
震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

八重山地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図



八重山地方の震度観測地点



過去の地震活動は石垣島地方気象台のホームページで閲覧できます

URL <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/press/jishinkatsudo/jishin.html>

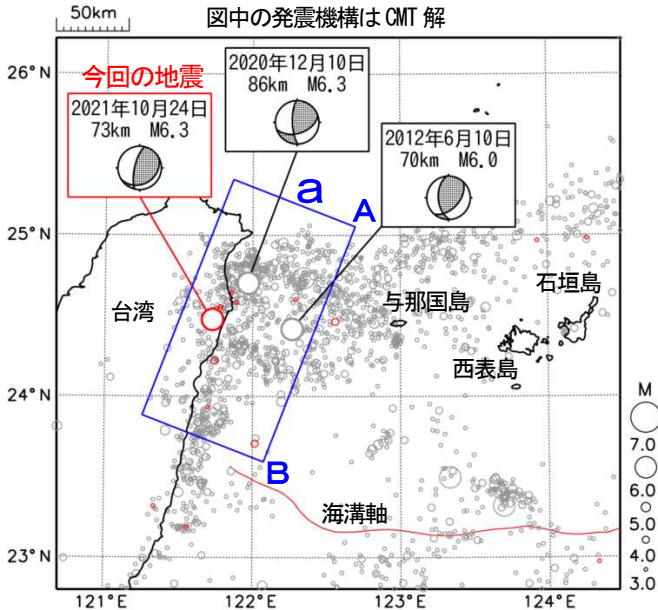
本件に関する問い合わせ先 石垣島地方気象台 0980-82-2159

10月24日 台湾付近の地震

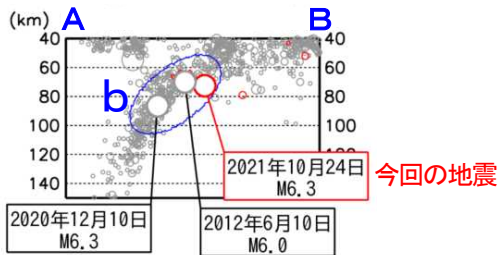
震央分布図

(2009年9月1日~2021年10月31日、
深さ40~150km、 $M \geq 3.0$)
2021年10月の地震を赤く表示

図中の発震機構はCMT解

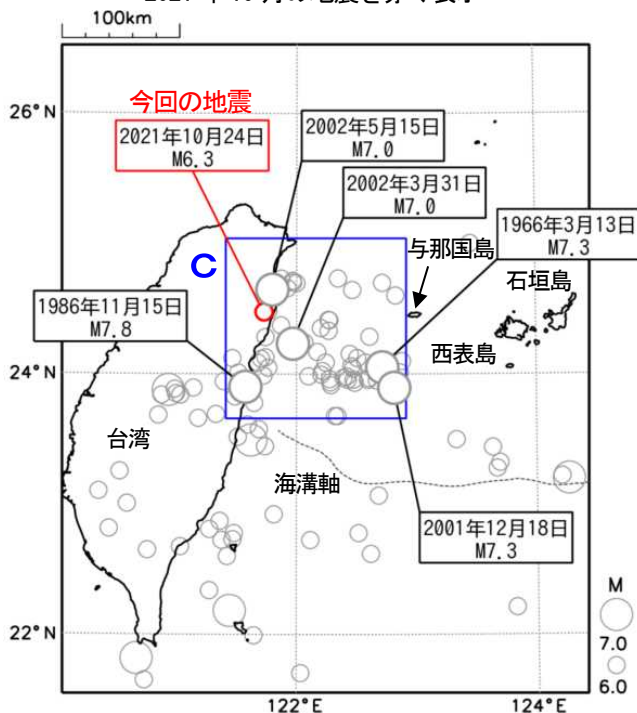


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1960年1月1日~2021年10月31日、
深さ0~100km、 $M \geq 6.0$)
2021年10月の地震を赤く表示

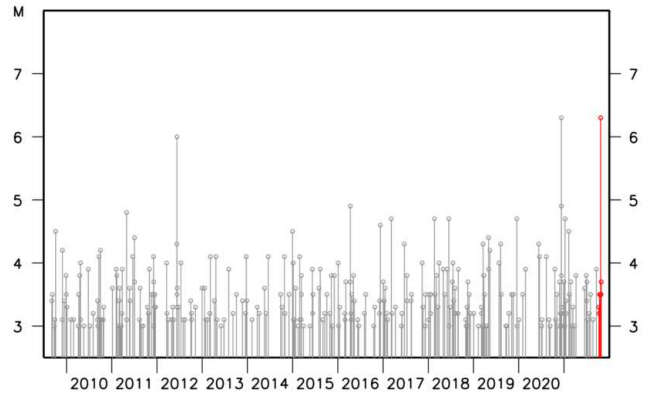


1986年11月15日の地震の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による。その他の震源要素は気象庁による。

2021年10月24日14時11分に台湾付近の深さ73kmでM6.3の地震 (日本国内で観測された最大の揺れは震度2) が発生しました。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。発震機構 (CMT解) は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型です。

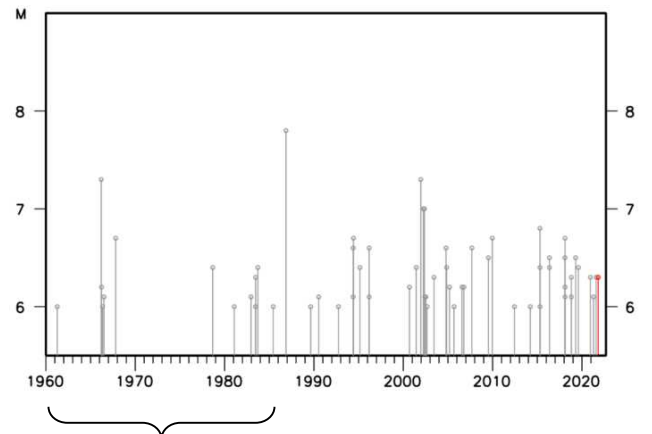
2009年9月以降の活動をみると、この地震の震源付近 (領域b) では、2012年6月10日にM6.0の地震 (日本国内で観測された最大の揺れは震度3) が発生するなど、M5.0以上の地震が時々発生しています。

領域b内のM-T図



1960年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1986年11月15日にM7.8の地震 (日本国内で観測された最大の揺れは震度3) が発生しました。この地震により、宮古島平良で30cmの津波を観測しました。また、1966年3月13日のM7.3の地震では、与那国島で死者2人や家屋の全半壊等の被害が発生しました (被害は、「日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)